

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

ピックアップ導入事例

黒部ダム の公衆Wi-Fiサービス導入を可能にしたデュアルバンド同時接続対応の無線アクセスポイント、厳しい環境下での拠点間通信を低コストで実現

黒部ダム 様

長野県と富山県のほぼ県境に位置し、雄大な北アルプスの山々に囲まれた黒部ダム。年々増加の一途を辿る海外からの観光客に向け、2016年5月から無料で利用可能な公衆Wi-Fiサービスを開始しました。今回の事例では、2.4GHz帯を使った公衆Wi-Fiサービス提供と5GHz帯を使った屋外拠点間通信を同時に実現する無線LANアクセスポイントを用い、有線LANの敷設が困難な場所においても、低コストで信頼性の高い公衆Wi-Fiサービスの構築例をご紹介します。

●取材協力：サスナカ通信工業株式会社



関西電力株式会社 黒四管理事務所 運輸課 車両主任 因幡透氏(以下、因幡氏)、黒四管理事務所 庶務課長 小玉善文氏(以下、小玉氏)

さらなる観光客の増加を目指し 無料の公衆Wi-Fiサービスを開始

黒部ダムには「観光放水」や立山黒部アルペンルートのハイライトのひとつとして、雄大で美しい自然を楽しもうと、多くの観光客が訪れています。

「黒部ダムは国内外から年間100万人近くの観光客を迎え入れています。ここ数年は長野県大町市や富山県の積極的な取り組みもあり、外国人観光客が急増しています」と、小玉氏は話します。

今回、黒部ダムでは、さらなる海外からの観光客を迎え入れるため、富山県、長野県大町市のそれ

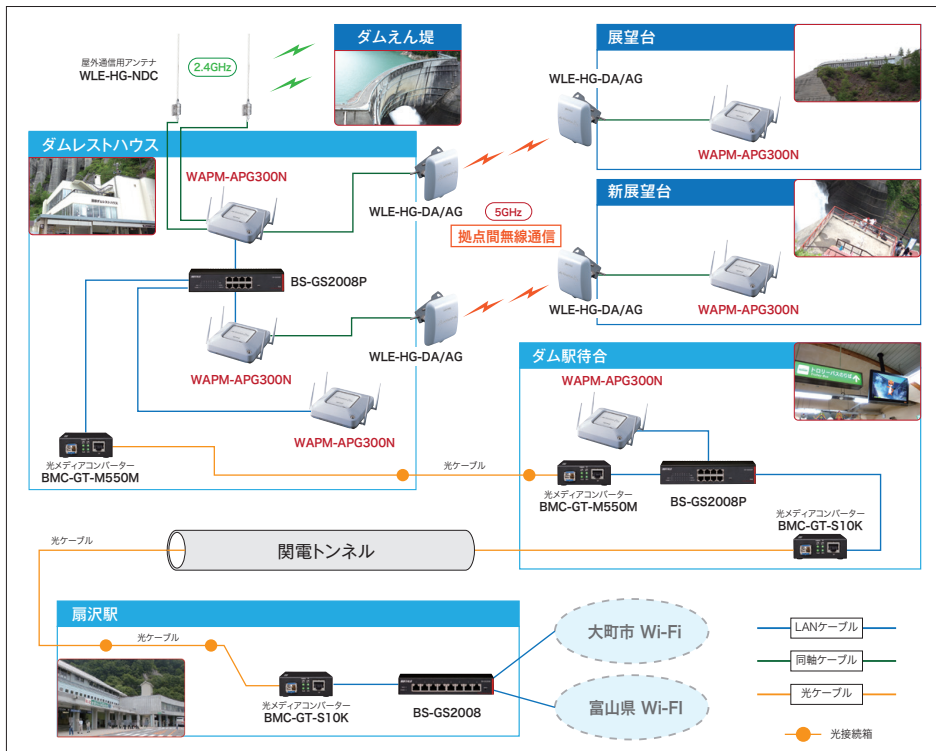
ぞれが運営する公衆Wi-Fi(無線LAN)サービスとの連携し、黒部ダム内の4か所の施設において、誰もが無料で利用可能な公衆Wi-Fiサービスを開始しました。そこで選択されたのがバッファローのWi-Fi製品です。

厳しい自然環境にも耐える Wi-Fiネットワークが不可欠

今回のWi-Fi環境の整備を担当したサスナカ通信工業の半戸照久氏は、「今回の無線LANアクセスポイントの設置場所は黒部ダム駅待合場所の

ほか、山腹や壁面にある2か所の展望台、そしてレストハウスです。各施設の場所が離れているだけでなく高低差もあり、それぞれの施設に設置する無線LANアクセスポイントと、基幹ネットワークの接続に有線を用いるのは、敷設工事、およびコスト面からも困難だと判断しました」と話します。

また、冬場は積雪が多く、温度もマイナス以下となります。そうした厳しい環境下にも耐える機器が必要でした。課題や要件を考慮し複数の製品を検討した結果、サスナカ通信工業が提案したのが、バッファローのWi-Fi製品でした。



屋外建物間通信を低コストで実現する バッファローの提案を採用

提案の主軸となったのが、無線LANアクセスポイント「WAPM-APG300N」です。今回、レストハウスと、新展望台および展望台間では、屋外遠距離通信用アンテナを併用し、5GHz帯による拠点間通信を行っています。一方、各施設周辺では、2.4GHz帯による公衆Wi-Fiサービス観光客に提供、屋外アンテナも設置し、通信エリアの拡張を行っています。

「WAPM-APG300Nの採用により、拠点間を接続するための有線LANの敷設が不要になったことに加え、公衆Wi-Fiサービスの提供も同時に行えるため、必要な無線LANアクセスポイントの台数を減らすことができました。導入する機器が増えれば当然コストや障害のポイントも増えますが、そうした問題を一挙に解決してくれました」と、半戸氏は説明します。さらにPoE給電対応のスイッチの採用で電源に関する工事の手間やコストも抑制できています。

小玉氏は、今回のプロジェクトについて「サスナカ通信とバッファローには、満足のいくWi-Fi環境を構築できました。このインフラを活用し、訪れた観光客がもっと喜んでもらえるような施策を展開していきたいと考えています」と評価します。

導入製品



法人様向け 11n/a&11n/g/b同時使用
インテリジェントモデル 無線LANアクセスポイント
WAPM-APG300N

